

# 平成 26 年度第 3 回成田市総合計画審議会会議録

## 1 開催日時

平成 27 年 2 月 4 日（水） 午前 10 時～11 時 50 分

## 2 開催場所

成田市花崎町 760 番地

成田市役所議会棟 3 階 執行部控室

## 3 出席者

(委員)

櫻井会長、高木副会長、新井委員、伊藤委員、小椋委員、清水委員

野平委員、小野委員、竹内委員、平野委員、山崎委員

(事務局)

企画政策部 根本部長

企画政策課 宮田課長、木下課長補佐、金光係長、窪田主査、成毛主査

## 4 議事（要旨）

### (1) 市民意識調査結果について

平成 26 年に実施した市民意識調査結果について概要を報告した。

- ・ 15 歳以上の市民の中から、1 万人を無作為抽出し、約 3 週間の回答期間を設けた結果、4,459 人の方から回答をいただいた。
- ・ 回答者の属性について、女性が約 55%、年代は 60、70 代で 43%。地区別では成田、公津、ニュータウン地区で 6 割強を占めている。
- ・ 各施策に対して満足度と重要度を 5 段階で評価し、満足度の全体平均は 3.18、重要度の全体平均は 3.98 となっている。

### (2) 職員ワールドカフェ・NARITA みらい☆カフェの結果概要について

職員向けの「職員ワールドカフェ」、市民向けの「NARITA みらい☆カフェ」の実施結果について概要を説明した。

- ・ 昨年 12 月 9 日に開催した職員ワールドカフェは各課から 2 名参加を募り、計 98 名の職員が約 3 時間をかけて実施した。
- ・ NARITA みらい☆カフェは今年 1 月 12 日に実施し、18 歳以上の市民の中から 2,000 人を無作為抽出し、参加者を募った。その結果、79 名の方が参加した。
- ・ みらいカフェの参加者の年齢構成は、最も多い年代が 60 代で 27.3%、次いで 70 代が 22.1%、40 代が 16.9%と続いている。また、参加者の居住地区は、成田・公津・ニュータウン地区の方が全体の 7 割を超える結果となった。

### (3) 基本構想（案）について

次期総合計画の基本構想の素案について説明した。

- ・将来都市像については、「住んでよし 働いてよし 訪れてよしの生涯を完結できる空の港まち なりた」とした。市民や職員によるワールドカフェでも、まちづくりに重要と考える施策としては、都市基盤整備、高齢者支援、子育て支援、産業振興などが多く、それらの考えもこのフレーズの中に含まれていると考えている。

- ・まちづくりの基本姿勢としては、まちづくりを進める上で特に重要視すべき市政の方向性を盛り込むこととし、未来を見据えて「次世代に誇れるまちづくり」をより推進していくためにも「若者や子育て世代に魅力のあるまちづくり」、「医療・福祉の充実したまちづくり」、「空港と共に発展するまちづくり」という3つの柱を「まちづくりの基本姿勢」として位置づけることとした。

- ・今後の成田市の土地利用の方向性については、住みやすいまちづくりに向け、中心市街地などの拠点となる地域に都市機能を集約させ、効率的な土地利用を推進することや、中心市街地以外の地域ではその特性に応じた土地利用を推進するとともに、各地域の機能を補完するために交通ネットワークの充実を目指すといった方向性を打ち出す必要があると考え、土地利用の基本方向としては「中心市街地などの都市機能の充実」、そして「地域特性を活かした土地の利用」という2つの方向を示すこととした。

### (4) その他

- ・今後のスケジュール

## 5 質疑等

(市民意識調査結果について)

生まれてからずっと成田市に住んでいると答えた人が3割、成田市外から転入してきた人が7割という結果だが理由は。

→空港があることから、各地から転入される方が多いことが1つの要因だと考えています。

回収率が44.59%だが、この数字は高いのか低いのか。

→前回の意識調査では回収率は半数を超えたが、毎年行っている市民満足度調査は回収率が下がってきている傾向です。回収数としては市民の意識を把握するには十分な数と考えています。

アンケートを郵送した年代や地区別の構成は。

→市全体の年代、地区などの人口構成に配慮をしています。

記述式のアンケートは若い人は面倒と感じる、インターネットを活用したアンケート方

法も検討してみてもどうか。

→若い人の意見を伺う手法としては、市民向けワールドカフェなどの様々な方法で実施し、できるだけ幅広い意見をいただいています。

□地区ごとの集計や分析は行っているのか。

→地区別の集計や分析も行うが、まだまとまっていません。まとまりましたら報告をいたします。

□審議会や委員会などの会議開催の情報公開は行っているのか。また「広報なりた」で掲載するなどの工夫も検討してみても。

→審議会の開催日程については市のホームページにおいて公開しています。「広報なりた」への掲載については検討します。

□基本施策に関する調査結果を見ると、市民が何を求めているのかが分かる。特に充実した労働環境の整備が高いが見解は。

→労働環境の整備となると国の施策が大きい部分があるが、市としてどこまでできるか、また全体予算の兼ね合いをみても労働費は他の予算と比べても低いという意見もある。国でも「まち・ひと・しごと創生」総合戦略で仕事づくりなどを考えているようなので、そのようなことも含め力を入れていく必要があると考えています。また、空港ができて労働力の面では他市町村よりは恵まれているが、地元の企業を育てたり、企業誘致などについても考えていかなければならないと思っています。

(職員ワールドカフェ・NARITA みらい☆カフェの結果概要について)

□PPPの積極活用とあるが、PPPとは。

→公共サービスを行ううえで、公共と民間が連携して行うことを言います。

□職員ワールドカフェの参加者は各課の課長が指名したのか。

→各課に任せています。

□NARITA みらいカフェは79名と少ないと思うが。

→ワールドカフェ形式で行うのは初めての試みでしたが、他自治体と比べましても、参加者は多い方です。

□地区に出向いたり、年代別や対象者を絞ったりして市民の意見を伺う方法も検討しては。

→今回は総合計画の策定のため幅広い対象となったが、他の事業でも市政について興味を持っていただくような取り組みも行っている。今後は子育て世代や若い世代の意見も吸

い上げられるような方法も検討しています。

□以前、観光客に成田の観光案内所が粗末と言われた、J Rや京成成田駅へ観光案内所を設置し観光客に対し対応を丁寧にする必要がある。

→今年にはJ Rの協力を得て、観光案内所をリニューアルする予定となっている。トランジットのお客に対しても、成田市、芝山町、多古町、空港関係などと協議会において、トランジット客を取り込む方策も検討していく予定です。

(基本構想(案)について)

□まちづくりの基本姿勢の項目の順番だが、1 番目に「空港と共に発展するまちづくり」、2 番目に「若者や子育て世代に魅力のあるまちづくり」、3 番目に「医療・福祉の充実したまちづくり」の方が良いのでは。

→基本姿勢の順番ですが、市の方でも議論になりました。今までは空港に関連することが1 番目にきていたことが多かったが、成田市での独自施策や取り組みが大事であると考え、このような順番になりました。

□土地利用の基本方針だが、中心市街地を整備しそれ以外の地域は整備しないということか。

→少子高齢化や人口減少を今後向かえるにあたり、行政の効率化、集約化は必ず必要になると考えます。中心市街地だけを整備するということではなく、地域特性を活かしたまちづくりを推進し、各地域と市街地を機能補完するために、公共交通を充実させていくような考えです。

□基本構想案にある、最小のコストで最大の効果を上げ、積極的な情報公開や市民ニーズの的確な把握・繁栄に努め、市民満足度を重視した行政サービスを行う事が大事だと思うので、ぜひそこを推進していただきたい。

□市民協働の指針はできているのか。

→できています。

□特区の進捗状況は。

→昨年5月1日に指定されてから区域会議を東京圏で2回、分科会を1回開催しています。また、今月中に区域会議、分科会が開かれると思います。分科会では医学部の新設について議論をしており、今後方針が示されると思います。空港の活用では内閣府と関係省庁にて外国人の活用と輸出の拠点について話し合っているところです。

□ふるさと納税はどのくらいあったのか。

→16件ありました。昨年は市制施行60周年と絡ませて行いました。(5,000円以上10件、10,000円以上6件)

## 6 傍聴者

なし